

研究協力をお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

四肢骨折の治療成績に関する研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2010年1月以降に昭和大学江東豊洲病院で四肢（手・腕・脚・足・鎖骨）の骨折に対する治療を受けた方

2. 研究目的・方法

四肢における整形外科外傷治療の進歩は著しく、様々な手術方法や内固定具、骨癒合を早く治す治療法が新たに開発されています。しかしながら、新しい治療方法や内固定具の安全性、治療効果については検証が必要です。昭和大学江東豊洲病院で治療した四肢骨折に対して、過去にさかのぼって診療記録情報および画像検査、血液検査データを用いて、治療効果および治療成績に影響を及ぼす要素に関し検討を行います。本研究は学術研究であり、整形外科の患者さんのデータを病院内の診療録管理室にて「3. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を取得します。

研究期間

「昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後～2025年9月30日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2010年1月1日以降に昭和大学江東豊洲病院で治療した患者さんの背景（年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、使用薬剤）、関節可動域・握力・重症度分類などの臨床所見、X線・CT・MRIなどの画像所見、病理学的検査、血液検査データ、手術術式、使用した内固定具、治療成績などの項目のデータを収集します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院整形外科 氏名：李 相亮
住所：135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38 電話番号：03-6204-6000
研究責任者：李 相亮